

# 議 事 録

会 議 名	令和6年第2回昭和警察署協議会（定例会）																											
日 時 ・ 場 所	令和6年5月30日（木） 午後3時00分から午後5時10分までの間 ----- 昭和警察署 講堂																											
出 席 者	<p>1 委員</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">小川 裕香子 会長</td> <td style="width: 33%;">阿部 眞有美 副会長</td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> <tr> <td>小池 志穂 委員</td> <td>篠原 隆志 委員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鳴川 義雄 委員</td> <td>片岡 眞紀 委員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>脇田 将義 委員</td> <td>石川 克彦 委員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>齋藤 佳帆 委員</td> <td>西山 海良 委員</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">以上10名（定数10名）</p> <p>-----</p> <p>2 警察署員</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">柴田 署長</td> <td style="width: 33%;">兒玉 副署長</td> <td style="width: 33%;">神谷 警務課長</td> </tr> <tr> <td>吉川 会計課長</td> <td>宮本 生活安全課長</td> <td>山下 地域課長</td> </tr> <tr> <td>山肩 刑事課長</td> <td>山下 刑事課長代理</td> <td>川島 交通課長</td> </tr> <tr> <td>野呂 警備課長</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">以上10名</p> <p>-----</p> <p>3 有識者等 なし</p>	小川 裕香子 会長	阿部 眞有美 副会長		小池 志穂 委員	篠原 隆志 委員		鳴川 義雄 委員	片岡 眞紀 委員		脇田 将義 委員	石川 克彦 委員		齋藤 佳帆 委員	西山 海良 委員		柴田 署長	兒玉 副署長	神谷 警務課長	吉川 会計課長	宮本 生活安全課長	山下 地域課長	山肩 刑事課長	山下 刑事課長代理	川島 交通課長	野呂 警備課長		
小川 裕香子 会長	阿部 眞有美 副会長																											
小池 志穂 委員	篠原 隆志 委員																											
鳴川 義雄 委員	片岡 眞紀 委員																											
脇田 将義 委員	石川 克彦 委員																											
齋藤 佳帆 委員	西山 海良 委員																											
柴田 署長	兒玉 副署長	神谷 警務課長																										
吉川 会計課長	宮本 生活安全課長	山下 地域課長																										
山肩 刑事課長	山下 刑事課長代理	川島 交通課長																										
野呂 警備課長																												
諮 問 事 項 等	大規模災害に備えるため警察に望むこと																											
答 申 等 の 概 要	<p>災害発生時の治安維持に必要な体制の確保と情報発信</p> <p>各地域の幅広い年齢層への防災教育の周知と広報</p> <p>地域の各種委員や区役所、その他関連団体との連携の強化</p>																											
そ の 他	次回開催予定 令和6年8月下旬																											

会議の経過及び発言の要旨	
1	会長挨拶
2	署長挨拶
3	管内情勢の説明
	(1) 犯罪情勢（生活安全課長説明）
	(2) 交通事故情勢（交通課長説明）
4	前回の答申に対する具体的施策の推進状況（地域課長説明）
	(1) 諮問事項
	地域における警察署及び交番の機能・在り方について
	(2) 答申事項
	交番警察官をもっと身近に感じられるような、地域住民とのコミュニケーション向上の推進
	地域住民に安心感を与えるパトロールの推進とパトロールの機会を活用した広報啓発活動の実施
	(3) 推進事項
	ア 地域住民とのコミュニケーション向上について
	未来を担う若手警察官の地域会合への積極的な参加により地域の役員とコミュニケーションを図った。
	警察本部に置かれた交番勤務の指導専門官「交番インストラクター」による同行指導により実力の向上を図った。
	巡回連絡の強化期間（4月、5月）を実施することで、住民と触れ合う機会を増やした。
	交番発行のミニ広報紙に交番施設の紹介記事を掲載した。
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
管内の小学生による交番見学、パトカー乗車体験の実施した。	
イ 地域住民に安心感を与えるパトロールの推進とパトロールの機会を活用した広報啓発活動の実施。	
パトカーの運行時赤色回転灯の常時点灯走行の実施。	
パトカー通常警ら時にマイク広報を活用した、防犯及び交通安全広報の実施。	
交通指導や取締り時にも、市民と接触する機会に警察が市民に対して必要な注意喚起や呼びかけを実施した。	
小学校の登下校時間の見守り活動を実施した。	
5 諮問	
(1) 諮問事項	
大規模災害に備えるため警察に望むこと	
(2) 諮問事項設定の理由	
能登半島地震を受け、災害発生時の対応要領や災害訓練の必要性について検討し、警察が発災までにできること、発災後にすべきことを市民に向けてどのように発信してほしいかをこの機会に知っておきたい。	
6 協議	
委員	・ 愛知県警の情報発信アプリのポリスアイチでも、警察目線での災害情報を発信できるようにアップデートできないか。
	・ 災害対策チェックリストがあることは当然いいことだが、チェックリスト上に名古屋市や他の災害情報媒体のURLやQRコードを掲載して利便性をあげてほしい。
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨			
委員	<p>・ 災害発生時を想定したシミュレーションに基づいた災害訓練が必要である。情報については、スマートフォンを使えない高齢者にはどのように情報発信できるのか。高齢者サロン等での災害対策講話などもして、一人でも多くの人に周知を図ってほしい。</p> <p>・ 若者は回覧板も回らず心配。若者にも広報が必要である。</p>		
委員	<p>・ 東日本大震災後に、宮城県の大川地区等の被災地見学に行き、現地の語りべ等の話を聞いたことがある。</p> <p>小学校を始め、企業でも、屋上に逃げるというマニュアル通り避難したら、想定外の大きな津波に飲み込まれ多数の死者がでた。</p> <p>いずれも、隣に山があり、屋上などではなく山に避難していれば助かったと言われている。</p> <p>その悲惨な出来事を、今回の諮問を考えるまで、忘れかけて風化していた。しかし、諮問について考えることで、東日本大震災のことを思い出し、いい機会となった。</p>		
委員	<p>・ 今まで、恥ずかしながら、災害のことについてほとんど考えてきていなかった。しかし、皆さんの話を聞いており、それでは駄目だということが分かった。今後は私も、自分の周りで災害に対する準備などをしていこうと考えを改めるきっかけとなった。</p> <p>また、災害が発生したときの対応について考えると、地震速報やアラートが鳴ったとき、我々は、生きるか死ぬかの判断を数秒から十数秒でしなければいけないということであるため、そのアラートの内容がもっと分かりやすくなればよかった。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>記録者</td> <td>警務係長</td> </tr> </table>	記録者	警務係長
記録者	警務係長		

会議の経過及び発言の要旨			
委員	<p>・ 会社で、ハザードマップを活用したり、防災袋の確認をするなどして、防災訓練をやっている。</p> <p>会社だけが訓練をするだけでなく、会社の社会貢献の必要性から、共助の取り組みも大切なので、今後は、会社と付近住民など官民一体の防災訓練をやってはどうかと思う。</p>		
委員	<p>・ 今回の諮問事項の災害に関する説明、特に共助の部分で、私も職場でも、備蓄倉庫等を確認し地域を守る存在となれるかどうか、検討していきたい。</p> <p>・ 今後、警察で優先的に救助が必要となる建物の把握なども必要と思う。また、今後はドローン技術を導入して、上空からの状況確認、いち早い救助活動等にも活用したらどうか。</p> <p>ドローンは災害だけでなく、ふだんの防犯活動などにも使えるのではないかと思う。</p>		
委員	<p>・ 名古屋市には、名古屋市防災アプリというものもある。</p> <p>・ 地区では自主防犯訓練を実施しているが、年齢層が非常に高くなり、大学生の一人暮らしも多いのに若い人が来ないことも問題である。</p> <p>・ 昭和署の老朽化も問題である。署の建物が倒れたら、必要な活動ができないことから早期に建て替えてほしい。</p>		
委員	<p>・ 説明の中に一般部隊による混乱防止とあるが、災害があると、昭和区内には、各市大病院や八事日赤という大きな病院があり、けが人等が病院に殺到すると思う。病院内の混乱は病院が対応す</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>記録者</td> <td>警務係長</td> </tr> </table>	記録者	警務係長
記録者	警務係長		

会議の経過及び発言の要旨	
<p>と思うが、病院の前の道路や病院の混乱防止もシミュレーションなどしてほしい。</p>	
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子供会の運営に携わっているが、若い人の参加が肝腎である。</li> <li>・ 子供のときから災害に関する意識を持たせて、自分の身を守る術、自分から発信できるものを持ってほしい。</li> <li>・ 個人情報の入手は難しいが、災害時等は近隣同士が助け合えるよう、共助ができる体制づくりもしてもらいたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校では、避難訓練はやっているが、コミュニティの中で子育て世代を参加させるのは困難である。参加したら得をするようなグッズの用意や工夫が必要だと思う。</li> </ul>
7 答申	
(1) 災害発生時の治安維持に必要な体制の確保と情報発信	
(2) 各地域の幅広い年齢層への防災教育の周知と広報	
(3) 地域の各種委員や区役所、その他関連団体との連携の強化	
8 その他	
<p>次回の開催予定は、令和6年8月下旬とする。</p>	
記録者	警務係長